

交運・公労協統一ゼネスト

4月下旬決戦に勝利を

危険な地方選への解消

春闘 雇用等で態勢づくり 共闘

春闘共闘は四月下旬決戦に向けて第一次から第四次までの統一行動を決めた。われわれは、七九春闘を統一地方選に解消する動きに反対し、四月下旬の交運・公労協の統一ゼネストに向けて、全力をあげて闘う態勢をつくりあげねばならない。

春闘共闘は二月十九日、第二回戦術会議を開き、三月上旬から四月段階にとり、くむ集中行動期間を決めた。それによると、まず三月九日までの第一次集中行動(ないしは七日)を軸に、同九日まで、雇用確保・健保改善阻止・共済年金の支給期限改善反対など制度・政策要求を掲げ、ストを含む集中的な統一行動を予定している。

史上初の越年闘争

動揺なく自信深める

昨年十一月からの全通労働組合員の中に闘争にたいする自信が深まってきた。これは、一月二十五日の第三十二回臨時中央委員会で中間総括がなされ長期闘争に戦術を移行し闘争を継続していくことが確認された。

中間総括は、十項目にわたって述べられているが、主要には次の三つの成果が数えられるとしている。



団結—これこそ労働者の力

①全通労働史上初の越年闘争という予想以上の闘いを闘い貫き、省側の弾圧にも組織的動揺もなく、全通なくしては郵政事業の遂行は不可能であることを示すことができた、なによりも全

春闘不在の集票活動

代々木派幹部に高まる批判

阪体 大自

自治体労働者を取りまく情勢は七九春闘においても非常に厳しく、依然として資金抑制や合理化攻撃がかけられてきている。こうした中で、とりわけ大阪府下におけるこの数年の資金攻撃は従来の既得権を大中に奪い去り、同時に退職金制度の改悪や、共済互助会での有利分のはき出しを強要してきている。

代々木派の影響の強い大阪府職労や衛都連では七九春闘を前にした現在、職場での闘う態勢を固める取り組みを置きざりにしたまま統一地方選挙、とくに知事選の取り組みが異常に強化され、職場組合員の反感を醸成している。

府職労は二年前から自治体の春闘方針に対する独自の春闘方針を提起し、こと極めてセクト的な集票活動

に明け暮れている。組合の機関紙にも春闘前の記事が載らないことも選挙の記事が載らないことも選挙の労働者の団結の基礎である自らの生活と権利のための活動はますます掘り崩されつつあります。この逆立ちした代々木派幹部に対して組合員大衆は組合への期待を失い、批判の声を高まっています。自治体毎にかけられた人件費攻撃によって容易に国の攻撃が貫徹されようとしている今日、この攻撃に対する反撃が79春闘にて強く要請されています。

さされる四月五日を「春闘と選挙闘争を結合した地域で一日行動日」としている。第四次集中行動期間は、春闘第二のヤマ場である四月九日から二十一日まで。春闘関係に影響力をもつ金融四連産(JC)の回答日前後にストを反復、最大の山場となる四月下旬に官民一線の闘いを組織する。

公労協はすでに一部で五月決戦をとなえているだけに、なんとしても、四月下旬の官民一体のゼネストを成功に導かねばならない。そのためには、四月月上旬に選挙闘争に埋没せず民間大産の春闘と連帯した一大統一闘争が要求されている。

つたことは否定できない。にもかかわらず、全通本部の予想・局側の予想をはるかに上回る闘争として、また共闘団体の拡大にみられる横の拡がりの中に、郵政労働者だけでなく労働者階級全体のものとしてとらえざるを得ない内容と成果をこの闘争が持っているといえる。

総もたれかかりの春闘の終焉から産別の組合への転換への運々とした歩みの中で、本闘争の果した役割は決して小さいではない。まず各職場での闘いの重要性を教え、職場での闘争をもつた組合活動の活性化が実際になされているのである。だから組織的動揺がなかったのである。

今後、この闘いの教訓を最大限に受けとめながら、自覚的に日本労働運動総体の再編成にまで進む方向を打ち出すのは、全通本部の重要な任務の一つとしてあるといえる。また、そして今回の闘争に結びつけようとする方向性を職場労働

に明け暮れている。組合の機関紙にも春闘前の記事が載らないことも選挙の記事が載らないことも選挙の労働者の団結の基礎である自らの生活と権利のための活動はますます掘り崩されつつあります。この逆立ちした代々木派幹部に対して組合員大衆は組合への期待を失い、批判の声を高まっています。自治体毎にかけられた人件費攻撃によって容易に国の攻撃が貫徹されようとしている今日、この攻撃に対する反撃が79春闘にて強く要請されています。

②闘争過程において全通との共闘団体(動労の全通反マル生共闘半日スト)にみられる(の)拡大がなされたこと。

③「郵政マル生」とよばれる郵政省の近代的で差別を基本とした労務管理を国民的理解とすることができたこと。

しかし、次の二点の大きな不十分点の克服が必要であることも指摘されている。

①即決処分三万三千余にのぼる大闘争でありながらゼロ回答すなわち全通が要求している三十九項目の要求のどれ一つも省側がうけ入れない、という状態であること。

②中央レベルでの一月四日の一時休戦に対して地方レベルでの闘争継続というアンバランスな闘争であったこと。また、それを是認するような中央での「各級機関は、公労委提案に基づき、地方交渉および支部交渉において一定の整理がなされたい」という点である。

この方針の特徴は、まず十二月に出された職場討議案にかかげられていた賃上げの「ミニマム協定化」が、取り下げられた点である。また、制度・政策要求として健保改善阻止にしばられたという点である。

ミニマム協定は、交渉のすすめ方として本年新しく提起された。これは、物価上昇分プラス昇給分保障について回答を求め、協定化する賃金の物価スライド制

七九最賃闘争がいよいよ開始された。三月一日に、地域別最賃の早期改定をめぐり、全国一斉に要求書が提出される。

私鉄総連は、二月十四日第三回拡大中央委員会をひらき、七九春闘方針を決めるとともに、四月以降の退職金闘争推進の方針をはじめ七議案を決定した。七九春闘の産別統一要求は①賃上げ二万円、②年間臨時給現行協定月数プラス〇・二

ともいうべきもので、実質賃金の維持を計るという前提から出された方針であった。しかし、具体的な方針が明確になっていないため「物価上昇分の基準の設定のし方」「自動的な昇給保障などの疑問が出、結局今春闘では精神だけ交渉に生か

りくむ春闘共闘・同盟など労働四団体は、すでに四ラ七万円以上」を最低に、最高八万円の幅で要求し発効時期もおそらくとも「全県が九月」になるようとりくみを強める。

このほか労働四団体が重視しているのが地域最賃と産別最賃の関連。地域最賃闘争の成果の半面、産別最賃闘争が春闘連敗のもとで停滞し逆に地域最賃の改定にプレキをかけるという状況がうまれているからである。

この為、春闘共闘では地域最賃と共に産別(企業別)最賃協定化を重視その拡張適用を強める。

多くの問題があります。職務の内容も初めにあげたように定義づけはされていくものの具体的には仕事の中の役割分担は明確化されていない為、今後はつきりさせるよう努めていこうと思っています。

私の職場は一〇〇%が組合員なのですが教職員は平均年齢が28才と若く半数近くの教師が採用五年未満、毎日授業・生徒指導その他のおわらわりの状態で、職場に弱く組織する力量はほとんど管理職の思いのままに進まされています。

賃上げ二万円要求

四月上旬交運ストへ合流

私鉄

格差・合理化との引きかえになるのではないかと「ミニマム協定」でもストライキを背景に強力な闘いが必要であり二段階になる闘いをとるようにおこなうのかなどの疑問が出、結局今春闘では精神だけ交渉に生か

し、夏の定期大会までもちすことになった。

秋闘から引きついで退職金の第二基本給問題は、三月六日半日ストをかまえて決着を計るが経営側の主張する「三十三%導入継続」は認めざるがわりのプラスアルファをどれだけ獲得できるかに移ってしまつた。

四月下旬決戦は八〇年代への足がかりと位置づけ、交通ゼネストを成功させ、二万円賃上げ獲得するまで闘うことを確認した。昨年のように、途中で矢が折れる式の闘いではなく、交通ゼネストを打ちぬき、四連敗に終止符を打つことは全労働者の共通した課題となっている。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

雇用の具体化必要

指名解雇に方針不在

電機

縮の実現について「雇用合理化に対する対策強化と時局労働の規制、有休休暇の完全消化」「完全週休二日制の実施」等をかかげている。しかし、現実には、沖電

にバネを与えている中で、中央委では雇用保障・拡大の統一的具体方針は欠落したままになっている。すでに、指名解雇された七八名は各々「沖電(八王子)指名解雇を撤回させ

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

このことは、解雇撤回闘争の不統一に決定的な影響を与えている。指名解雇撤回闘争支援共闘会議「二名、先日裁判闘争に入った」「沖電の不当解雇を撤回させる会」六四にも大きな影響を出してきていることも重大問題である。

